



# 地域づくりへの 相互協力体制の構築

第1ブロック 須原智子

# 1年間の歩み

## ブロックミーティング（8回開催）

5月：自己紹介、ブロックで活動の方向性、名簿作成

6月：指導者会未入会者へのアプローチ、各区の活動について

7月：荒川区・江戸川区の活動への参加について

第1ブロックの方向性（コンセプト）の共有

8月：暑気払い、江戸川区活動の振り返り

9月：第2ブロック研修会の参加者募集、江東区の活動について

ブロックミーティングのあり方について

11月：江東区の活動への参加について

来期の活動に向けた提案（防災に関する勉強会）

12月：防災に関する勉強会について、来期の活動について

# 第1ブロックの構成

	所属	無所属	実態	活動中	
千代田区	0人	1人	1人：無所属1人	0人	0人
中央区	0人	1人	0人	0人	0人
港区	2人	1人	4人：所属3人、無所属1人	2人	1人
台東区	0人	0人	1人：未入会	0人	0人
文京区	0人	0人	0人	0人	0人
足立区	3人	2人	5人：所属4人、無所属1人	4人	3人
荒川区	1人	0人	3人：所属1人、無所属1人、未入会1名	1名	1人
葛飾区	0人	1人	0人	0人	0人
江東区	3人	2人	6名：所属5人、無所属1人	5人	4人
墨田区	0人	1人	0人	0人	0人
江戸川区	3人	0人	3人：所属3人	3人	3人
合計	12人	9人		16人	12人

# 第1ブロックの活動コンセプト

『自分たちの地域を、  
自分たちがつながって創っていこう』

## 2つの柱

### ①安心して「認知症」になれる地域

⇒正しい知識や情報を地域に発信していくことも  
指導者の役割ではないか。

### ②ケアする人をケアする

⇒自分たちが護られていないのに、ご利用者を  
護ることはできないのではないか。

# 地域での活動

## 荒川区

○ケアニンプラスカフェ

地域の医療職・福祉職・介護家族等の集い

## 足立区

①足立区主催による実践者研修の実施

②地域イベント

ほつか色遊びコラボ展

## 江東区

○地域イベント

SOS検索模擬訓練、認知症サポーター養成

# 地域での活動

## 江戸川区

### ① ただいまプロジェクト

SOS検索模擬訓練、認知症サポーター養成  
地域課題へのアプローチ

### ② プラットホーム研究会

地域活性化へのアプローチ

地域の医療職・福祉職の連携に向けた活動

### ③ オレンジ会議

認知症地域支援推進員の会議への参加

荒川区：ケアニンプラスカフェ（定期活動）

『ケアニンとケアに関わりたい関心ある誰もが参加できる』

開催：毎月第4火曜日（2018年7月開始：現在8回開催）

主催：MOMOの小屋の仲間たち

（医療・介護系有志、介護家族、地域住民等）

参加者：1回の参加者が平均20名を超えており、様々な  
属性の方が参加 内、指導者4人（江戸川区、港区）

内容：カフェ（1人1品持ち寄り、パネル発表など）

コンセプト：仕事を続ける為には自分の時間を大切に紡ぐ事。  
その達人たちが技を公開(共有)してくれている。

今後の課題：活動を継続していく事が大切

# 江東区：認知症高齢者SOS訓練（イベント）

～みんなで支えよう！認知症にやさしいまち～

開催：2018年12月1日（土）

協力・後援：江東区グループホーム・小規模多機能連絡会

江東区社会福祉協議会、江東区他

参加者：85名（地域住民、専門職等）

内、指導者3名（江戸川区：ただいまPJ）

内容：認知症高齢者の搜索訓練

（スマホとGPSを活用）

サポーター養成講座



2018/12/01 11:47



江戸川区：ただいまPJ（定期活動及びイベント）  
『認知症から学ぶ人のつながりプロジェクト』

開催：2018年7月7日

協力・後援：江戸川区青年会議所、区内警察署、江戸川区

総参加者：概ね300人

内、指導者8人（荒川区、江東区、港区）

内容：2部構成による、まちづくりイベント

1部：フォーラム

認知症介護指導者（和田行男氏）による講演  
当事者参加のシンポジウム

2部：SOS検索模擬訓練  
サポーター養成講座



## 江戸川区：その他地域活動

### ○オレンジ会議（認知症地域支援推進員会議）

地域の推進員と協働でサポーター養成講座やケアパスの作成等に協力

### ○プラットフォーム研究会（定期活動及びイベント）

地域の認知症疾患医療センターと協働で、地域の医療と福祉のつながりを育て、地域共生社会の仕組みづくりのための活動を実践

## ブロック制となったことでの感想

- ・地域の近い指導者と膝を交えて話ができる関係性が出来てきた。
- ・このブロックは、まだ同じ区内に少数の指導者しかいないところが多く近隣での結びつきが必要と感じている。
- ・ブロック制になって良かったと思う。
- ・ブロック制になったことから、他区の指導者からの応援も可能となり、広く知って頂くことが出来た。
- ・近隣他区の指導者と横のつながりを作ることで相互協力することができた。